

報道関係者各位

2020年7月15日  
 神宮の杜芸術祝祭実行委員会

日本博 主催・共催型プロジェクト / 明治神宮鎮座百年祭記念  
**神宮の杜芸術祝祭 祭る。祈る。創る。**  
 —持続可能な自然と芸術文化—

**「神宮の杜芸術祝祭」美術展第二弾、始動！**

明治神宮の杜を舞台とした芸術と文化の祭典「神宮の杜芸術祝祭」。3月から開催中の野外彫刻展「天空海闊（てんくうかいかつ）」に続き、「紫幹翠葉（しかんすいよう）—百年の杜のアート」展がスタートいたしました。

会場は、明治神宮鎮座百年祭記念事業の一環として昨年開館した、明治神宮ミュージアム。隈研吾氏によって設計された、杜と調和する美しいミュージアムから、神宮の杜芸術祝祭の美術展第二弾を展開します。

**「紫幹翠葉（しかんすいよう）—百年の杜のアート」**

「紫幹翠葉」とは、紫の木の幹、緑の木の葉という意味から、景色が青々としていて美しい様子を表します。縄文時代から日本人は、森や山に神さまを見出し、手を合わせて感謝する、それが自然に対する日本人の伝統的な態度でした。そして、富士山や桜だけでなく、田んぼや雑草、野鳥などといった日常の暮らしの風景に、美しさを見出してきました。

—現代アーティスト達が、

明治神宮に思いを寄せて作った新作の数々—

参加する現代アーティストは、40名。その表現の形として選んだのは、屏風、掛け軸、衝立（絵画）、扇面といった日本古来の様式です。特に、扇面形の絵画作品は、実力と才能を兼ね備えた注目の現代アーティスト30名に制作を依頼。30名の新作が1つの壁面に展示されます。現代アーティスト達が、明治神宮やその鎮守の杜に思いを寄せ、自然や暮らしを対象に畏怖と尊敬、情熱を込めて制作した作品が、明治神宮ミュージアムに並びます。

素晴らしい明治神宮の緑と共に、澄んだ表現の数々を堪能してください。



**【出展作家（\*五十音順、敬称略）】**

\*作品および詳細は、別紙をご参照ください

●屏風

品川亮、天明屋尚、山本太郎

●掛け軸

川久保ジョイ、杉戸洋、ミヤケマイ、森村泰昌、

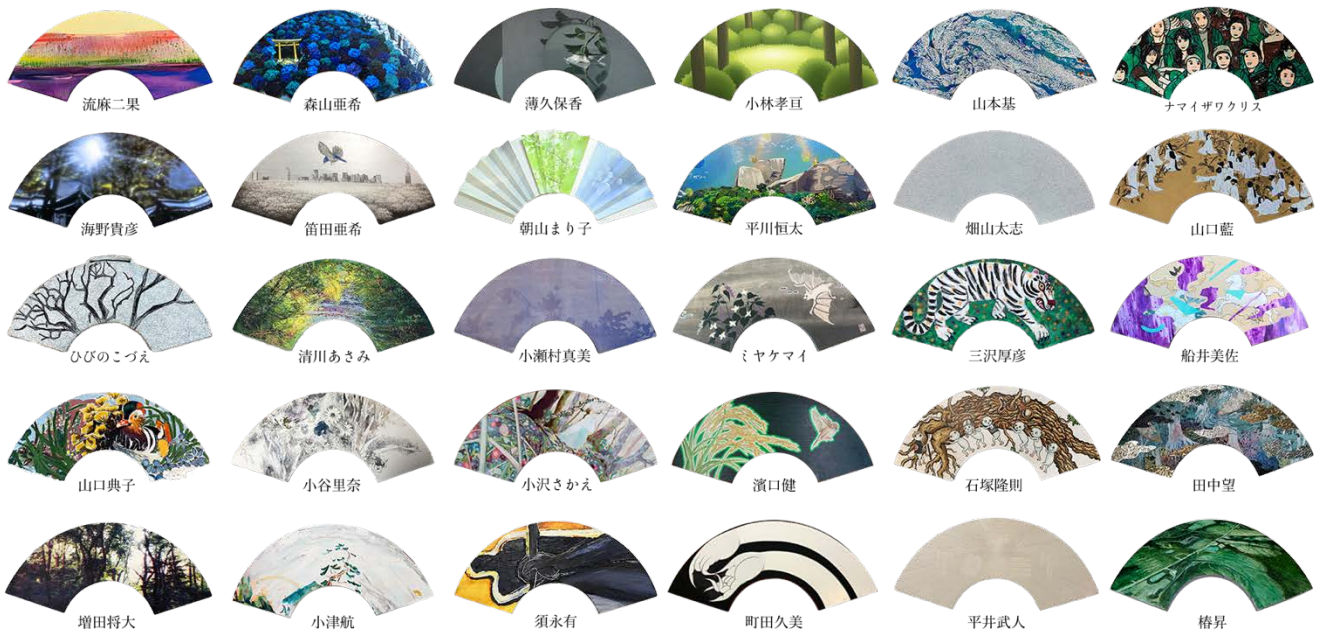
●衝立（絵画）

能條雅由（衝立）、平川恒太（衝立）、笛田亜希、本田健、中村ケンゴ、篠田太郎

●扇面

朝山まり子、石塚隆則、薄久保香、小沢さかえ、小津航、海野貴彦、清川あさみ、小瀬村真美、小谷里奈、小林孝亘、須永有、田中望、椿昇、流麻二果、ナマイザワクリス、畑山太志、濱口健、ひびのこづえ、平井武人、平川恒太、笛田亜希、船井美佐、増田将大、町田久美、三沢厚彦、ミヤケマイ、森山亜希、山口藍、山口典子、山本基

## 【展示作品】



## 【展覧会概要】

名称： 「紫幹翠葉 -百年の杜のアート」  
 会場： 明治神宮ミュージアム（明治神宮内苑）  
 会期： 2020年7月10日（金）～2020年9月27日（日）※木曜日休館（但し7/23, 7/30は開館）  
 時間： 10:00～16:30 ※最終入館は閉館時間の30分前まで。  
 入場： 無料（但し明治神宮ミュージアムの入館料1,000円が必要です）  
 芸術監督：山口裕美

## 新型コロナウイルス感染症感染防止対策について

展覧会の開催に際しては、（公財）日本博物館協会の「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を踏まえ、十分な措置を講じてまいります。ご来館の際にはあらかじめ下記をご確認ください。  
 ご迷惑おかけいたしますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ◇会場内における感染防止対策

- ・入口に消毒液を設置します。
- ・スタッフのマスク着用や検温を徹底します。
- ・会場内の清掃・消毒・換気を徹底します。

### ◇来館に関するお願い

- ・37.5℃以上の発熱や咳・咽頭痛などの症状がある方については、ご来館をお控えください。
- ・過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方は、ご来館をお控えください。
- ・マスクの着用、咳エチケット、手洗いや手指消毒にご協力ください。マスクを着用でないお客様の入館はご遠慮いただく場合がございます。
- ・大人数での来館はお避けください。ご来館が集中した場合は、お待ちいただく可能性がございます。
- ・館内では他のお客様との距離をできるだけ2m取るように心がけてください。
- ・展示室内での会話はお控えください。
- ・展示物及び展示ケース、使用中の機器等には手を触れないでください。
- ・万が一、館内での感染者の発生が確認された場合、神宮の杜芸術祭公式サイトにてお知らせいたします。該当する日時に来館されていたかを確認できるよう、ご自身でご来館日時を記録ください。

## 野外彫刻展「天空海闊（てんくうかいかつ）」も開催中

「紫幹翠葉」展の他、3月から開催されている野外彫刻展「天空海闊」も引き続きお楽しみいただけます。明治神宮内苑の各所に展示された4点の野外彫刻が鎮守の杜と呼应し合う様子を、ぜひご覧ください。

### 【展示作品】



名和晃平《White Deer (Meiji Jingu)》2020



船井美佐《Paradise/Boundary-SINME-》2020



松山智一《Wheels of Fortune》2020



三沢厚彦《Animal 2012-01B》2012/2019

神宮の杜芸術祝祭のスタートを記念し、2020年3月20日（金）に開幕したのが、野外彫刻展「天空海闊」です。「天空海闊」とは、果てしなく続く空、快晴の空へ向かって、大らかに広がることを意味します。明治神宮として初の開催となる野外彫刻展には、名和晃平、船井美佐、松山智一、三沢厚彦の4名のアーティストが、圧倒的な自然に溢れる70万㎡の明治神宮の杜を舞台に作品を展示しています。アーティストたちが明治神宮を訪問し、設置場所に足を運び、明治神宮の歴史や文化を理解し、尊敬や畏怖の気持ちを持って制作したそれぞれの作品は、神宮の杜の木々と対峙し、呼应し、佇んでいます。新しい作品との出会いをお楽しみいただける特別な展覧会です。

展示の舞台となる明治神宮の杜は、緑豊かな都会のサンクチュアリとして親しまれていますが、実は100年前につくられた人工の杜であることはあまり知られていません。当時の森林学や造園学、都市工学を採り入れながら、持続可能な自然と都市づくりを念頭に、日本全国から集まった青年団、当時の若者たちによる奉仕活動で造られた杜であるというこの事実を、野外彫刻展をとおして見直すことは、次の100年の自然と都市、そして芸術のあり方を考えるうえで有益となるでしょう。

### 【展覧会概要】

名称： 神宮の杜野外彫刻展「天空海闊（てんくうかいかつ）」  
 会場： 明治神宮 内苑各所（詳細は会場マップをご覧ください）  
 会期： 2020年3月20日（金・祝）～2020年12月13日（日）\*会期中無休  
 時間： 明治神宮の開門・閉門時間に準じます  
 入場： 無料  
 出展作家（\*五十音順、敬称略）：名和晃平、船井美佐、松山智一、三沢厚彦  
 芸術監督：山口裕美

## 被災地復興支援への「サンクスフラワー・プロジェクト」展

名称： 被災地復興支援への「サンクスフラワー・プロジェクト」展

会場： 明治神宮 第二鳥居前 小径

概要： 2011年の東日本大震災をはじめ、2016年の熊本地震、2018年の西日本豪雨、北海道胆振東部地震等々、近年、日本においては全国で様々な大規模災害が頻発しています。そしてその都度、国内だけでなく海外からも様々な支援をいただき、それぞれに復興の道を歩んできました。そうした国内外の温かい支援に対して、被災した地域を中心とした日本全国の花によって感謝の気持ちを表現しようというのが、「サンクスフラワー・プロジェクト」です。今回、「永遠の杜」をコンセプトに、沢山の人の協力によって造られた明治神宮の杜を舞台に、年間を通じて、日本の様々な感謝の花を展示していきます。

### 第二弾 「千葉県奉納祭」 7月10日～

新型コロナウイルスは、世界に未曾有の困難をもたらしておりますが、日本は過去にも東日本大震災や各地で発生した大きな台風など、多くの災害に立ちむかって克服し新たな絆を築いてきました。この展示の花は、千葉県を襲った令和元年房総半島台風による被害から立ち直った生産者の情熱で力強く咲いた花です。明治神宮鎮座百年祭のお祝いとともに、私たちに希望と勇気を与えてくれると思います。逆境に負けず咲く花のような笑顔が日本と世界に溢れますように。

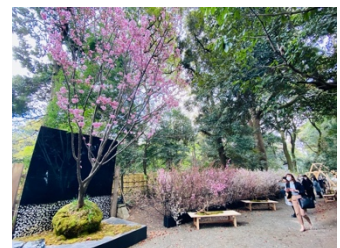
アーティスト： 中川聖久 (株式会社マサ&アーティスト)  
 小林祐治 (GEOMETRICGREEN.inc)

### 今展示予定：

3月20日～ 東北桜奉納祭  
 7月10日～ 千葉県奉納祭  
 8月1日～ 東北ダリア奉納祭

天候や開花状況により、日程変更の可能性がございます。※天候や開花状況により、日程変更の可能性がございます。

主催 一般社団法人サンクスフラワープロジェクト、神宮の杜芸術祝祭実行委員会  
 協賛 福島県塙町、FLOWER KING、プランツパートナー  
 後援 青森県、岩手県、秋田県、山形県、宮城県、福島県  
 特別協力 日本航空 新 JAPAN PROJECT  
 協力 全農山形、全農秋田、全農岩手、全農千葉、日本花き振興協議会



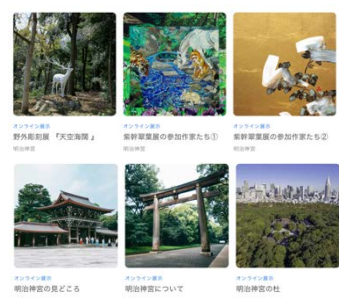
## Google Arts& Culture と AI NAVI Tenshin / デジタル技術活用の取り組み

### Google Arts & culture

2020年5月19日より、「神宮の杜芸術祝祭」は Google が提供する Google Arts & Culture において神宮の杜芸術祝祭及び明治神宮についてのオンライン展示ページを公開致しました。

明治神宮について学ぶことはもちろん、参道や本殿、御苑等の一部のエリアではストリートビューでバーチャルな散策も楽しめます。現在6つのオンライン展示が公開され、ご自宅から「神宮の杜芸術祝祭」の雰囲気をお楽しみいただけます。

 Google Arts & Culture : <https://artsandculture.google.com/>



## 観光インバウンド対応「AI NAVI Tenshin」の導入



アートをはじめとする文化を活かした新しいビジネスモデルやイノベーションの創出を目指し、スマートフォンで利用可能な対話型 AI-Navi サービス「AI NAVI Tenshin(テンシン)」の実証実験を行っています。

明治神宮の3か所の入口と内苑内のフォレストテラスに配置された「神宮の杜芸術祝祭」の看板、および、野外彫刻のキャプションのQRコードを読み取ると、「AINAVI Tenshin」が可能となります。野外彫刻展の作品やアーティストの情報、また、明治神宮で授かることができるお守りに関する情報など、神宮の杜芸術祝祭や明治神宮の参拝をより楽しむための情報が沢山入手できます。

## 今後の主なイベント予定

### 彫刻展「気韻生動(きいんせいどう)ー平櫛田中から名和晃平まで」 2021年 年初予定/宝物殿

※新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、開催を延期させて頂いております。



平櫛田中《新春(犬)》  
 小平市平櫛田中彫刻美術館  
 所蔵

「気韻生動(きいんせいどう)」とは、絵画などの芸術作品に、気高い風格や気品や、生き生きとした生命感や迫力、さらには情趣にあふれていることも意味し、明治の思想家・美術評論家の岡倉天心が作家や作品に対して、目指した境地でもあります。

この「気韻生動」展では、明治時代の平櫛田中の彫刻作品を中心に、平櫛田中から現代美術までの彫刻・立体作品を宝物殿にある国の重要文化財の指定を受けている展示ケース中に展示する立体のグループ展です。平櫛田中受賞作家や平櫛田中の精神を受け継ぐ新しい表現の立体作品を展示し、新しい素材の使い方や今までにない表現に関して、それぞれのアーティストが挑戦した美を一同に集める企画です。107才まで長生きした平櫛田中の見る度に感動する彫刻作品は、まさに宝物殿に展示されるに相応しい作品群になると思います。さらに、木彫の美しさ、素材の魅力は、明治神宮の杜の魅力と繋がります。明治神宮鎮座百年の祝祭として、展示ケースの中だけではなく、広い展示空間の中に小林正人、原良介の新作絵画も展示いたします。

### 「神宮の杜の茶会」

※新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、開催を延期させて頂いております。

- 隔雲亭茶会「工藝比照」奈良宗久監修 / 隔雲亭
- 絵画館茶会「高山流水」東京藝術大学茶道部・「雲中白鶴」慶應義塾大学裏千家茶道慶茶会/ 絵画館茶室

### 「次の百年につなぐ 子供達のプログラム」

※新型コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、開催を延期させて頂いております。

- アートワークショップ アーティスト：船井美佐・笛田亜希・平川恒太 (予定)
- 子供達と森のフィールドワーク：武笠太郎 (ザリガニワークス)
- 神宮の杜ウォークラリー

### 「切切偲偲一応援が力になる」これからの千年のアート展/ 2020年10月27日(火)～11月10日(火)/ 絵画館

- 明治神宮の杜の写真展 一写真で見る明治神宮の100年ー
- 2020年の明治神宮 朝山まり子写真展
- 応援が力になる アーティスト応援企画展
- アートワークショップ展

## 神宮の杜芸術祝祭 開催概要

名称： 2019/2020 日本博 主催・共催型プロジェクト / 明治神宮鎮座百年祭連携企画

「神宮の杜芸術祝祭」祭る。祈る。創る。ー持続可能な自然と芸術文化ー

会期： 2020年3月20日（金・祝）～ 2021年3月31日（水）

ー 美術展等 2020 年 3 月～ 2021 年 3 月

ー 現代文化展等 2020 年 10 月～ 12 月

ー 自然・環境・共生社会関連企画 2020 年 3 月～ 2021 年 3 月

ー 観光インバウンド・被災地復興・地域創生 2020 年 3 月～ 2021 年 3 月

ー 茶会・現代アート茶会 2020 年 9 月・10 月

公式サイト：<https://jingu-artfest.jp/>

主催： 文化庁、独立行政法人日本芸術文化振興会日本博事務局、  
 神宮の杜芸術祝祭実行委員会、一般社団法人アートパワーズジャパン

特別協力： 明治神宮

連携： 明治神宮鎮座百年記念事業

後援： 経済同友会、仙台・岩手・福島経済同友会、渋谷区観光協会、原宿表参道櫛会、  
 読売新聞社、日本テレビ放送網株式会社

特別協賛： 株式会社ミクシィ、日本航空株式会社

協賛： 株式会社伊藤園、共立製薬株式会社、東京地下鉄株式会社、日本カルミック株式会社、  
 株式会社乃村工藝社、東日本旅客鉄道株式会社、楽天株式会社

協力： 東京藝術大学大学美術館、小平市平櫛田中彫刻美術館、井原市立田中美術館、  
 慶應大学裏千家茶道慶茶会、東京藝術大学茶道部、  
 セコム株式会社、大日本印刷株式会社

開催テーマ：「伝統と革新」祭る。祈る。創る。ー持続可能な自然と芸術文化ー

開催趣旨： 2020年、明治神宮は、創建100年を迎えます。次の100年へと歩みを進めるこの記念すべき年、明治神宮の鎮守の杜を舞台に、芸術と文化の祭典「神宮の杜芸術祝祭」を開催します。テーマは、「祭る。祈る。創る。」。神宮の杜を舞台とすることで、日本における「自然」と「文化・芸術」のつながりを再認識し、日本の美意識の再発見と海外発信を目指します。

厳かな雰囲気をもった大自然の中での野外彫刻展や美術展や、神宮周辺で発展した現代文化の企画展など、多様なイベントを年間を通して実施。あわせて、被災地復興や地域創生のイベントを開催し、祈りの心を世界に発信していきます。



## 広報お問い合わせ

神宮の杜芸術祝祭実行委員会 広報担当

メール：[press@artpj.jp](mailto:press@artpj.jp)

電話： 03-5774-6511

URL：<https://jingu-artfest.jp/>